

# 一 般 質 問



上村 忠 議員

**問** コロナ後の交流人口増加に向けた観光資源の活用方法について問う

**答** クアプラザピリカ温泉とその周辺施設を観光振興エリアとして、重点化を図り進めています。

**上村議員** 国内外で感染が拡大している新型コロナウイルス感染症の状況下において、様々な分野に大きな影響を与えています。そんな中にあっても、各分野、生き残りをかけて、コロナ禍を乗り越えようと知恵を絞り、頑張っています。我が町においても飲食店はテイクアウトに力を入れる等、影響を最小限に抑えようと努力され、またクアプラザピリ

カでは、昨今のアウトドア人気に指定管理者であるTINコーポレーションが独自にグランピング事業を展開するなど挑戦されています。中でもグランピング事業は、交流人口の増加の可能性を感じさせます。この事業展開に合わせて町外から来て頂いた方々に今金町に興味を強く持つてもらおうの何かが必要であると思います。そこで、今金町の良さをさらにアピールするためにも、現在様々な理由により活かしきれない観光資源の活用方法を改めて考える時期にあると考えます。

**町長** 新型コロナウイルス感染症の収束が、見通せない状況であります。だからこそ、コロナ後を見据えて準備を進めるべきであると考えますが、町長の考えをお聞きます。行政は、「今金町に興味を強く持つてもらおうの何かが必要」という事について、興味と感心を引き寄せる事柄として、可能な限りのプログラムを、関係者の声も添えて掲載したパンフレットを作成し、

「活かされています」という声も聞かれています。また、「活かされていない観光資源」については、美利河を観光振興エリアとして、重点化を図り進めています。行政が直接関わる事案として、奥美利河温泉関連施設が課題です。観光振興の際に、時代背景の変化も含めて、慎重に対応をしなければならぬと認識しています。更に、団体・集団型から個人型、家族型の小旅行へとシフトしている中で、観光振興の視点も変えなければなりません。

行政として努める事は、対応を他に委ね、その事に支援を行う等々、様々な選択肢を持ち考える事と認識します。「交流人口」や「関係人口」にしても、今金町を訪れ、楽しまれ、存在価値を見出し、頂ければ、有難いことです。また、飲食・買い物等で消費して頂き、経済循環の促進に繋がる事が期待される観光振興に思いを強くしています。